

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	卵巢腫瘍・卵管癌・腹膜癌 476 例における子宮内膜細胞診の後方視的解析
	研究目的	卵巢腫瘍・卵管癌・腹膜癌では，無症状検診の子宮内膜細胞診で進行癌と診断される症例が散見される．子宮内膜細胞診は子宮体癌のみならず，経卵管的に子宮外悪性腫瘍の検出も可能である．卵巢腫瘍・卵管癌・腹膜癌における子宮内膜細胞診の有用性と限界を知る事を目的とする．
	研究対象者	2000 年 1 月～2016 年 12 月に組織診で卵巢腫瘍（境界悪性以上）・卵管癌・腹膜癌と診断した 670 例中，子宮内膜細胞診を行った転移性卵巢癌・重複癌を除く 476 例
	研究期間	西 暦 2018 年 9 月 7 日 ～ 西 暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を 利用します）	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	内山亜弥
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科 / 病理診断科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし